

女子連の大会での注意事項(選手用)

2012

1. 開催要項(大会2ヶ月前にHP掲載またはクラブ代表宛発送)をよく読んで申込む。
参加資格制限のある大会は十分確認する。
 2. 実施要項、ドローで大会内容を確認する。(約2週間前にHP掲載)
 3. やむを得ず棄権する場合は、必ず実施要項記載の担当者に連絡する。
当日はメールまたは8:30以降に携帯電話へ連絡する。メールには所属クラブ・出場級・氏名を忘れずに!
 4. ドローに記載されている時刻は、試合開始予定時刻。その20分前に大会説明を行うのでそれまでには会場に集合し受付を済ませる。時刻の記載が無い方は8:45に集合する。
 5. 試合進行は全てオーダーオブプレーで行う。若い番号の組は本部でボールを受け取る。
呼び出しはしないので掲示板に注意し、次の試合に貼られたら、コート付近で待機する。
前の試合が握手をしたら、試合のできる服装でコートに入り、速やかに試合を開始する。
 6. 朝一番の試合に入る場合は、若い番号の組がボールと一緒にスコアボードも持って行き、審判台の高い位置に取り付ける。(待機のベンチがある方に向ける) ネットをしっかりと上げ、センターストラップの高さを91.4cmにあわせる。(メジャー使用)
 7. コート内外でボールを使った練習は出来ない、練習は壁打ちコート内(9:00~)のみ。
試合前の練習はほとんどの試合でサービス4本のみ。
 8. 審判は原則としてセルフジャッジ。判定とコールは瞬間的に、相手に聞こえるような大きな声と明確なハンドシグナルで行う。ライン際など自分で判定できず迷った場合は、すべてグッド(入っていた)とする、決して観客の助けを借りてはいけない。
 9. サーバーはサービスを打つ前、レシーバーに聞こえる声でスコアをアナウンスする。
 10. 奇数ゲーム終了後エンドチェンジをし、スコアボードに現スコアを掲示する。(若番が上)
 11. ポイントとポイントとの間は20秒以内とする。エンドの交代は、90秒以内とする。
ただし、第1ゲーム終了後とタイブレークゲーム中は、エンド交代時も休憩はできない。
 12. トイレットブレークは原則取ることが出来ない、緊急の場合は自分たちのサービスゲーム前にとることができるが、必ず役員を呼ぶ。けいれんなどで試合が中断した場合も役員を呼ぶ。
 13. 握手をした時点で試合終了となる。双方がスコアをよく確認し、両者納得の上で握手をし、速やかに勝者がボールと対戦表(ポストイット)を本部に提出し、結果を報告する。
- ※ 試合中困ったこと(スコアが相手とくい違う、相手のジャッジに不満がある、フットフォールトが気になる、タイブレークがわからない等)があったらロービングアンパイア(コートを巡回している役員)、または本部にお尋ねください。

【広島県支部のホームページ <http://www.jltf-hiroshima.net/>】
HPでは要項・申込書・ドロー・大会結果などを掲載します。ダウンロードもできます。
またドロー会議後に試合日程(予定)を掲載しますが、詳細は実施要項で再度確認してください。

【広島県支部のフェイスブック】
携帯からは <http://m.facebook.com/jltf32>
パソコン、スマートフォンからは <http://www.facebook.com/jltf32>
フェイスブックでは天候による大会日程や集合時間の変更がある場合にお知らせします。
但し、当日の変更は9時以降になります。それまでに集合の方は会場にお越しください。